

みねのぶ



大豆刈取り作業（藤井聡志さん圃場、三笠市岡山、10月1日）

■発行日/令和2年11月1日/No.1423号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

大豆乾燥調製貯蔵施設が

受入開始

大豆乾燥調製貯蔵施設が9月28日から受入を開始しました。

大豆刈取り作業は早い方で9月18日頃から始まりましたが、米の刈り取り調製作業と作業が重複し、また雨天の日が多く思い通りに収穫が進まず、身体の疲労に心労が加わりお疲れと思います。

当JA管内の本年度の大豆作付は433・6畝で前年とほぼ同じ作付面積となっています。



大豆の搬入作業

一報徳一

わが法は分度確立が基礎

10月27日開催の第9回(10月定例)理事会において、次の付議事項が決定されました。

1. 諸規程の一部変更について

翁のことばに、何事でも、成し遂げようとするならば、最初から、終わりにどうなるかを見定めておかねばならない。たとえば木を切る場合でも、切らない前に、木の倒れるところをはつきり決め

第9回(10月定例)理事会の開催について



個々に重量を測定

ておかねばならない。倒れる段になってどうにしようがない。だから、私が印旛沼を検分するときも、仕上げの検分まで一度にしようといつて、どのような異変があつて失敗のない方法を工夫したのだ。相馬公が興国の方法を依頼されたときも、着手する前に過去百八十年間の収納額を調べて、分度の基礎をたてた。それは荒地開拓が出来上がった時の用心なのだ。わが方法は、分度を定めることを本とする。この分度を確固と立てて嚴重にこれを守ってゆくならば、荒地が何ほどあつても、借財が何ほどあつても、何の恐れも心配もない。わが富国安民の法は分度を定めること一つにあるからだ。そもそも、皇国は皇国だけの広さであつて、限りがある。これをそれ以上に広くすることは決してできない。してみれば、十石の者は十石、百石の者は百石と、それぞれの分を守るほかに道はない。百石を二百石に増し、千石を二千石に増すことは、一軒の家ならできる相談だが、一村一同ですることは決してできない。優しいように見えて、はなはだ難しいことなのだ。それ故、分度を守ることを我が道

の第一の眼目とする。よくこの道理をわきまえて分を守れば、まことに安穩な生活ができるから、杉の実をとつて苗を仕立て、山に植えて、その成木するのを待つて楽しむような気分になる。分度を守らなければ、先祖から譲られた大木の林を、一時に切り払つても間に合わぬようになってゆくことが目に見えている。分度を超える過ちは恐るべきものだ。財産のある者は、一年の衣食がこれで足りるというところを決めて分度とし、分度外は多少にかかわらず譲つて世のためになることをし、こうして何年も積んでいったならば、その功績たるや無量だろう。釈迦は世を救うために国も妻子も捨てた。世を救う志があるならば、おのれの分度外を譲ることぐらい、どうしてできないはずがあろうか。

(夜一四九)

おくやみ申し上げます

伊藤 百合子さん (89歳) 9月29日 美唄市豊葦町3区

神野 實さん (92歳) 10月22日 美唄市豊葦町2区

小山田美知子さん (82歳) 10月25日 美唄市峰延町峰樺3区

美唄市峰延町峰樺3区



吉田会長の開会挨拶

本大会は、新型コロナ禍で7月大会を中止にしています。今年最初の大会となります。プレー開始に先立って吉田会長が「怪我のないように楽しんで親睦を深めて下さい。」と挨拶を述べ、続いてJAの安達常務理事の挨拶、担当者か

峰延年金友の会

パークゴルフ大会開催

10月2日、峰延農協年金友の会（会長 吉田 栄）のパークゴルフ大会が三笠市パークゴルフ場「サン・パーク」（三笠市岡山）で開催されました。



久々の大会で力が入ります

ら競技のルールと注意事項の説明が行われました。

開催日は曇天で雨が降り出しそうな空模様の中でプレーが行われました。参加者はJA安達常務理事と事務局担当職員を含めて28名（男性21名、女性7名）で、9組に分かれ3つのコースから一斉にスタート、日頃の練習の成果を発揮し親睦を深めながらプレーを楽しんでいました。優勝者は、男性は渡辺幹夫さん（峰延東松盛会）、女性には渡辺艶子さん（峰延東松盛会）で夫婦での優勝となりました。



青年部がくず米集荷

また、ホールインワンは渡辺幹夫さんで競技終了後に表彰式が行われました。

本年もJA青年部が事業の一環として一元集荷に向けてくず米を集荷しました。9月19日、26日、10月3日、10日、17日の5日間に管内全域で集荷を行いました。総集荷量は約2、765俵／60kgでした。

組合員の氏名及び資格変更の手続きについて

JAでは組合員台帳の整理を常時行っていて、組合員資格等に変更（氏名・住所・電話番号、死亡・相続、離農）がある場合は、直ちに書面にて変更手続き等をお願いいたします。変更手続きについてはJA総務課にお問い合わせ願います。

また、任意脱退については当JA事業年度末（1月31日）の60日前の翌営業日から事業年度末の最終営業日の期間は手続きができませんのでご了承ください。任意脱退は事業年度末の60日前の営業日までには手続きを終えていただく必要があります。

また、出資の減口は理事会の承認が必要ですので、その事業年度の最終理事会開催前までに手続きを行っていただくことで、その事業年度末での出資金払い戻しとなります。出資金は長期的・安定的なJAの運営資金として使用しているため、貯金解約のような即時払い戻しはできません。

（JAみねのぶ総務課）

小林篤一顕彰公園の

冬囲い行う

10月14日、美唄シルバー人材センターに作業を委託して公園内の樹木の冬囲いを行いました。

ポプラ会が自分達で栽培した
さつまいもを販売

10月18日の日曜日、ポプラ会の部員が自分達で栽培したさつまいもを販売しました。

さつまいもは各部員が10月12日までに収穫したもので、JAみねのぶの国道12号に面した駐車場にテントを建て、売り場を設けました。品種は「紅はるか」で1・5kg入り1袋が300円、140袋あまりを用意し完売しました。



開店と同時に行列ができました

農業用廃プラ回収

青年部が実施

10月23日と24日の両日、JA青年部が農業用廃プラスチック類の回収作業を行いました。

回収したのは、使用済みのハウスピーニール、マルチ、育苗箱、肥料袋等で、美唄市峰延町峰樺3区の農産物検査場所敷地で実施されました。本年度より回収地区を2日間に割り振りし、持ち込みは組合員個々が運搬する形となり、青年部は回収場所での計量記録、種類毎に分別堆積、運送会社の大型トラックに積み込み作業を行いました。151人の組合員の皆さんから産業廃棄物を回収、苦小牧



大型トラックに積み込み



種類毎に分別

の産業廃棄物処理業者に搬送されました。回収した廃プラは固形燃料として産業廃棄物処理業者が運営する苦小牧にある火力発電所で再利用され化石燃料の代替燃料として有効利用されます。

JAでは、生活環境を守り「環境にやさしい農業」を実践して安全・安心な農産物生産の実践を目指しています。

JAで廃油回収行う

10月26日、JAが廃油回収を行いました。農業機械のエンジン等の古くなったオイル油をJAに集約し回収業者に引き渡しました。

組合員の方は個々に廃油を積んで集約場所の農産物検査場所敷地（美唄市峰延町峰樺3区）に来て、廃油用のドラム缶に移し替え回収作業を行います。50人の組合員の皆さんから約62口の回収を行いました。



廃油用ドラム缶に集約

準職員の退職

西川静江さんが令和2年10月20日付けで退職されました。

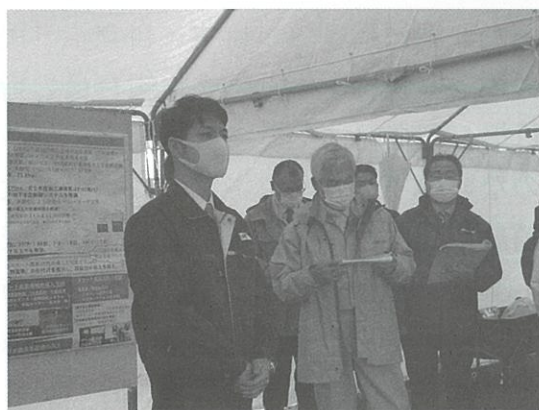
西川静江さんは、道職員（農業改良普及センター）を退職後、平成30年4月1日に当JAに就職され令和2年3月31日まで経営管理室長を務められました。令和2年4月1日からは事業統括室顧問を務められ通算2年6ヶ月勤務されました。



挨拶を述べる西川さん

鈴木直道知事が視察に訪れる

10月15日、現在基盤整備を実施している道営峰延第2地区の圃場（美唄市峰延町峰樺3区）に北海道の鈴木直道知事が視察に訪れました。最初に板東美唄市長から美

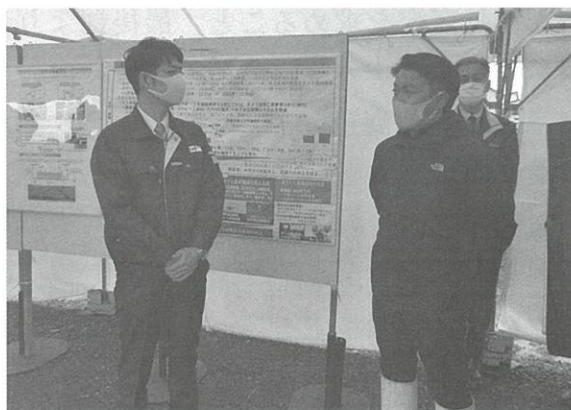


パワーアップ事業の継続を求める且見期成会長

唄市の基盤整備事業の概況が説明されました。峰延地区期成会の且見隆会長からは道営農業農村整備事業にかかる農家負担を軽減するパワーアップ事業の重要性と事業の継続を求め、圃場の大区画化と地下かんがいシステムでの排水性改善について説明されました。若手生産者を代表し森川真孝さんからは野菜作りの取り組みと、同事業は若手生産者が色々な事に挑戦できる事業と紹介されました。鈴木知事は「若い農業者の皆さんが夢や希望を持って農業を継続していける環境をいかに作るのかは極めて重要でパワーアップ事業の継続に向けて検討したい。」と述べていました。最後に当JA伊藤専務



基盤整備事業の重要性を述べる伊藤専務理事



パワーアップ事業は野菜作りなどに挑戦できると述べる森川真孝さん

務理事から、基盤整備事業の重要性と峰延産米ななつぼしのPRを行いお土産にハーブ米ななつぼしを手渡しました。

JAみねのぶ営業時間（令和2年11月1日～令和3年3月31日）

		平日(月曜～金曜)	土 曜	日 曜	祝 日
本部事務所(ビル2階)		午前9時～午後5時	休 み	休 み	
金 融 店 舗(ビル1階)		午前9時～午後4時			
営 農 事 務 所		午前9時～午後5時			
営農資材店舗	11月～3月	午前9時～午後5時			
精 米 所	11月～3月	午前9時～午後5時 *精米所は毎週木曜日休み	休 み		
ATM(現金自動預払機)		午前9時～午後6時30分	午前9時～午後6時30分		休 み
生 活 店 舗		午前9時30分～午後6時30分			
給 油 所	11月～3月	午前8時～午後7時		午前8時～午後6時	

【ご留意】

*金融店舗

・為替振込業務 … 平日（月曜～金曜）の午前9時～午後3時

冬期営業時間に 変更のお知らせ

当JAの営業時間は、11月1日から来年3月31日まで期間、冬期営業時間に変更なり次の通り営業させていただきます。
変わらぬご利用をいただきます
ようお願い申し上げます。

～ 組合員・役職員へのメッセージ ～



農協法公布記念日にあたって

北海道農業協同組合中央会 代表理事会長 小野寺 俊幸

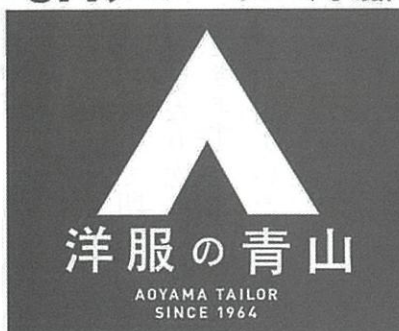
昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で73年を迎えました。戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

今年は新型コロナウイルスという今まで経験したことのないウイルスが、世界的に感染拡大しており、こうしたコロナ禍において、道民に対し北海道農業から行動を起こすことで、農業と人、農村と都市、生産者と消費者（生活者）の関係のあり方を見つめ直していただくため、「AGRI ACTION! HOKKAIDO（アグリアクションホッカイドウ）」と題した取り組みをJAグループ北海道が一丸となって行っています。「AGRI ACTION! HOKKAIDO」は、主に次の3つをテーマとした行動であり、まず一つは日頃、北海道産農畜産物を食べていただいている感謝をしっかりと伝えること、次に食料自給率の重要性に関する理解促進と具体的な行動変容を求めること、最後により多くの方に気軽に農業に接する機会を増やしてもらう（パラレルノーカー）ための国民に向けた情報発信であり、第29回JA北海道大会で決議いたしました「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」と「農業所得の増大と、多様な担い手の確保・育成」、「次代につなげる協同組合の価値と実践」の一環として、しっかりと取り組んで参ります。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

JA組合員の皆様へ

JAグループ×洋服の青山提携を開始しました!!



JA×AOYAMA
タイアップカードのご案内
洋服の青山で簡単登録!
お得な割引!

※ご登録の際には、JAより配布されるチラシ
及び本人確認書類が必要になります。

カードご入会・ご提示で
割引!後価格よりさらに
店内全商品
10%OFF
入会金 無料
年会費 無料

※一部対象外があります。詳しくは店頭係員にお尋ねください。

職員紹介（正職員、準職員）

4回目

当JAの職員を部署毎に紹介します。

販売企画課・営農資材店舗

肥料・農薬等をはじめとする生産資材物資を安定的に供給しています。



葛西 義奇 上田 駿樹 伊藤 岳史 高橋 寛磨
阿部 夕子 (販売企画課長)板井田 裕二 大池 敦子

販売企画課・給油所(美唄ガス株式会社社員)

ガソリン、軽油、灯油等の燃料油脂を安定的に供給しています。



石上 寿男 千葉 臣祐 (所長)蝦名 修一 宮崎 孝治

建物更生共済

むてきプラス

収容品建更 保障1,000万プラン

農業用格納庫内の収容品の保障、考えてみませんか!?

農業用格納庫内では、このような事故、災害が起きています!

火災



- ・バッテリー、配線ショート等による火災
- ・収容品からの突発的な火災

風水災



- ・暴風により防風林が格納庫に倒れ収容品が損傷した
- ・水災により格納庫もろとも収容品が流された

雪災



- ・大雪により倒壊し収容品が損傷した

その他

- ・地震により格納庫が倒壊し、収容品が損傷した
- ・農機具が盗難被害を受けた
- ・格納庫内部をトラクターで走行中、農機具等にぶつかり農機具等が損傷してしまった

JAの「むてきプラス」なら、収容品もしっかり保障!

プラス 火災や自然災害から、トラクターや農機具等、資産価値の高い収容品を保障します!

- ・火災、収容品の盗難被害の他、内部からの車両の衝突にも対応します!
- ・風災、雪災、水災、地震等の自然災害からも収容品を保障します!

【注】記載の他に保障対象となる事故、災害がございます。

【注】保障対象となる車両はトラクター等の農耕作業用小型特殊自動車とし、その他の道路運送車両法に規定する自動車は除きます。

プラス 災害時には実際に収容品を直すのに必要な額を保障します!

実際に収容品の復旧に必要な額を保障します! 【注1】【注2】

プラス 掛金負担を抑えながら大きな保障が可能になりました!

保障金額は満期共済金の最大30倍まで設定可能!

満期をご用意したい、保障を手厚くしたいと言ったニーズに応えます!

ご契約例

共済の対象：家財主契約(住宅付属建物内)
臨時費用保障30%、耐火C、口座振替扱、
年払、共済期間10年
再取得価額(収容品の価額) 3,000万円
火災共済金額 1,000万円
満期共済金額 100万円

火災共済金、自然災害共済金のお支払は・・・

火災、風災、雪災等で収容品が損傷した場合

最高1,000万円まで、実額保障します!

【注1】【注2】

【注1】お支払いには所定の条件があります。また、地震、火山の噴火、爆発、津波により発生した損害について比例てん補方式でのお支払いとなります。

【注2】約款に定める基準により算定した損害額について、ご契約の金額の範囲内で保障します。

【注3】保障対象となる収容品について、上記【注】の他、機械、装置、商品、原材料、半製品、仕掛品は含まれません。

共済掛金は・・・121,314円

10年後の満期共済金

100万円

お問い合わせは

JAみねのぶ金融課(共済) ☎(0126)67-2113

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

【20010784018】

<令和2年4月現在>

このチラシの有効期限は2021年3月31日までです。

特殊詐欺は、迷惑電話対策機能付き 電話機で犯人を撃退しよう！

警告

電話をかけてきた相手に
通話内容を録音すること
を伝える



この通話は
防犯のため
に録音され
ます。

※呼出し音の前に相手に
メッセージが流れます。

注意喚起

着信中に注意を促す
メッセージが流れる

RRR...



〇〇に気をつけ
てください。

※着信中に繰り返し
メッセージが流れます。

録音

通話内容を自動で録音
する

怪しいから後
で確認しよう。



キャッシュカード
が不正に使われ
ています。



その他

- 電話に出る前に、相手に先に名前を名乗ってもらおうようメッセージを流す
- 警察や自治体などから迷惑電話番号として情報提供された番号からの着信を自動で拒否

ほかにもいろいろな機能があります

キャッシュカードを狙った特殊詐欺は、被害者の約95パーセントが高齢者で、そのほとんどが自宅の電話機に犯人から電話がかかってきています。

だからこそ、今、特に高齢者の自宅の電話機に迷惑電話防止機能が必要なのです。6,000円前後からでも十分な機能が付いている電話機を購入できます。

御両親やおじいちゃん、おばあちゃんにプレゼントしてあげてはいかがでしょうか。



北海道警察

JAグループ通信 52

JA北海道中央会



9月28日、JR札幌駅にて「フラワーキャンペーン～道産花き日常生活にプラス1～」を開催いたしました。

本キャンペーンは、北海道経済連合会とJAグループ北海道の主催で、新型コロナウイルスの感染拡大により需要が落ち込んでいる北海道産花きの需要を喚起することを目的として、お越しいただいた道民の皆さまに北海道産の花1,000束を無料配布いたしました。小野寺会長(JA北海道中央会)、真弓会長(北海道経済連合会)に加え、北海道のご協力のもと、鈴木知事にも応援に駆けつけていただき、1,000束の花全てを配布することができました。

皆さまも是非、ご家庭で北海道産の花を飾っていただくとともに、大切な人への贈り物などでも道産の花を取り入れて、花のある、そして華のある日常生活を楽しんでください。

JAグループ北海道は、「AGRI ACTION! HOKKAIDO」(アグリアクション北海道)の一環として、今後も北海道産花きの消費拡大に取り組み、花き生産者を含む全道の生産者を応援していきます。



JA北海道信連



8月25日、バイオマスリサーチ株式会社(本社:帯広市)と北海道信連、農林中央金庫は酪農・畜産へのバイオガスプラント普及に向けた連携協定を締結しました。3者が連携することにより、プロジェクトチームの組成、事業性評価とファイナンスメニューの構築に取り組み、ふん尿処理にかかる営農課題解決に加え、循環型で持続的な営農体系の確立と、エネルギーの地域循環の実現を目指してまいります。



JA共済連北海道



JA共済連北海道は、平成20年より地域貢献活動の一環として、交通安全啓発運動を北海道警察本部と連携し「旗の波運動」として取り組んでいます。

街頭で小旗等を振り、ドライバーに交通安全を呼びかけ、交通事故の撲滅、および交通安全意識の向上を目的に活動しております。

今年度も札幌地区では9月23日に共済ビル前の街頭で実施しドライバー・歩行者へ交通安全運転を呼びかけました。



ホクレン



ホクレンは、「ホクレン大収穫祭」の一環として、北海道米「ゆめぴりか」計4tと、北海道産馬鈴しょ、玉ねぎそれぞれ計500kgを、札幌市内の児童福祉施設10カ所に寄贈しました。寄贈は今年で36回目。今年は新型コロナウイルスの影響で、札幌三越での会場販売が取り止めとなったことから、ホクレンの篠原末治会長が札幌市役所を訪れ、町田隆敏副市長に目録を手渡しました。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。10月発行の秋号においてはプレゼント付アンケートのコーナーもございます。是非、JA北海道厚生連のホームページをご覧くださいアンケートへのご協力をお願い致します。



JAグループ北海道の連合会・中央会の
活動内容を紹介します。
各団体の詳しい取り組み内容は
WEBサイトをご覧ください。

がんばれ!日本の農業



耕そう、大地と地域の未来。JAグループ <https://org.ja-group.jp/>